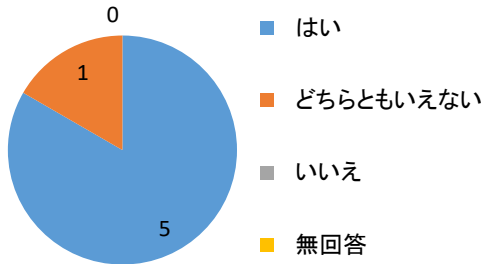


# 者向け放課後等デイサービス評価表 集計結果

回答期間:

回答者数:

## 1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。



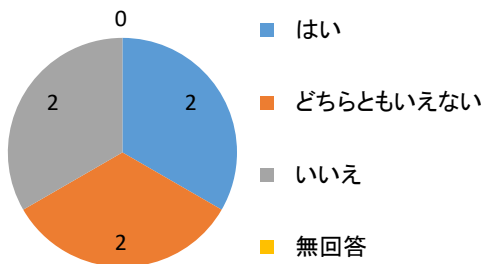
意見

・小集団をするには少し狭いかもしれません。

改善策について

机や椅子等の環境設定を、適時、模索する機会を設けることで、お子さんが出来得る限り療育に集中できる場を提供できるようにしていきます。

## 2. 職員の配置数は適切であるか。



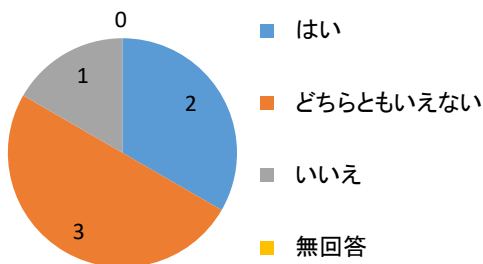
意見

・現在の利用者に対しては適切だが、今後、増やして利用者の枠も増やせたらと思います。  
・もう少し非常勤でもいいので、職員数を増やせたらいいと思います。

改善策について

適時、適切な職員の配置人数等を検討していく機会を設けることで、お子さんの安心・安全を常に確保した状況で療育にあたるように体制を整えていきます。

## 3. 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。



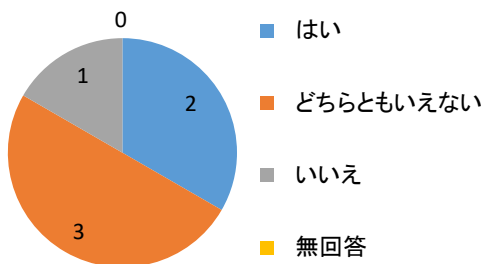
意見

・階段の手すりが無いため、不便さがあると思います。

改善策について

手すりの設置等、利用者が安心・安全に来所し療育を受けてもらえる設備を検討する機会を、適時、設けていきます。

## 4. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。

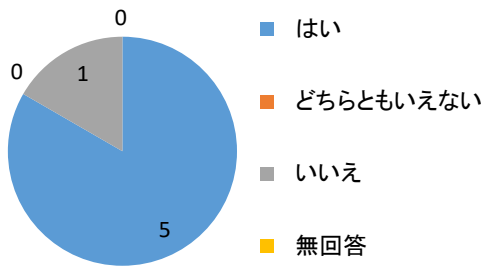


意見

改善策について

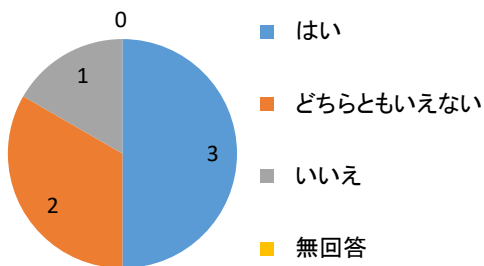
気になる点等が生じた場合には、常勤職員を中心に、適時、業務の改善案等を検討する機会を設けていきます。

5. 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。



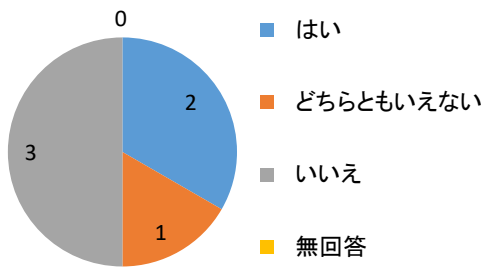
意見
↓
改善策について
事業所評価アンケートを実施し、保護者の意向も踏まえた運営が行えるように体制を整えていきます。

6. この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。



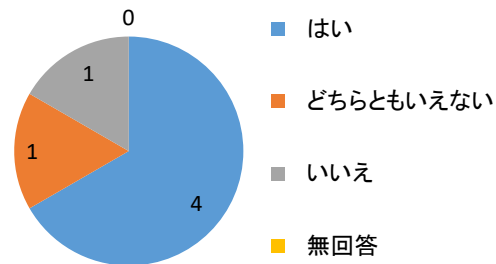
意見
・今年度開所となるため、これから実施していくこととなります。
↓
改善策について
平成31年3月1日に開所のため、今回からホームページ等で公開していくことを検討しています。

7. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。



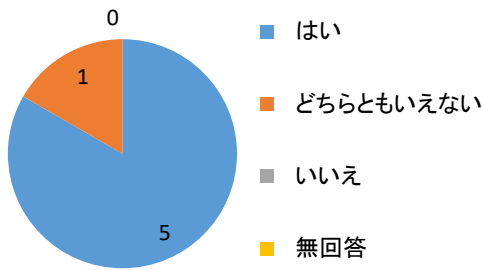
意見
↓
改善策について
今後は、適時、必要の応じて、第3者評価機関にも運営や指導等の評価をいただく機会を設けていくことで、より質の高いサービスを提供できる事務所にしていきます。

8. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。



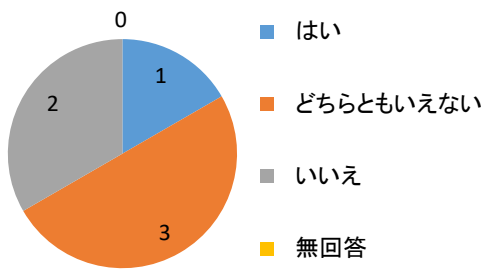
意見
↓
改善策について
適時、各専門職を中心に研修等の機会を設けているが、今後はより一層そういった場を増やしていくことで、職員の支援力の向上を図っていく場を確保していきます。

9. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。



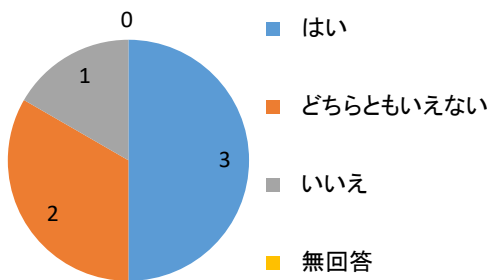
意見
↓
改善策について
適時、アセスメントを実施し、保護者と詳細に話ができる時間を確保し、よりお子様の状態をお伝えできるように作成していきます。

10. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。



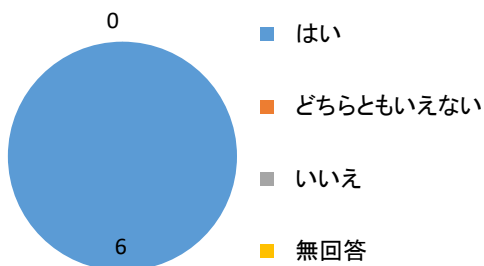
意見
↓
改善策について
標準化されたアセスメントシートを使用し、家庭でのお子さんの様子、実態を把握出来るようにしています。

11. 活動プログラムの立案をチームで行っているか。



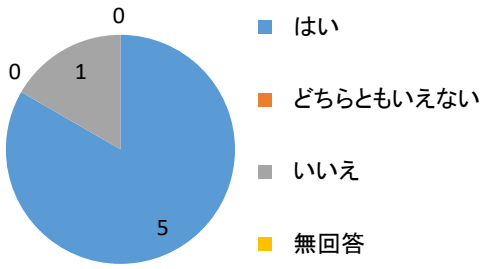
意見
・ケースカンファレンス等はあるが、個別指導のため、基本的には担当者が行っています。
↓
改善策について
ケースカンファレンスは、引き続き実施していきます。それと同時に、支援計画書作成時の担当者会議等を介し、適時、必要なスタッフ間で支援の検討を実施する機会を設けていくことで、プログラムを見直していけるようにしていきます。

12. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。



意見
↓
改善策について
適時、各専門職を中心に研修等の機会を設けることで、プログラムが固定化されないよう検討する機会を設けていきます。

13. 平日・休日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。



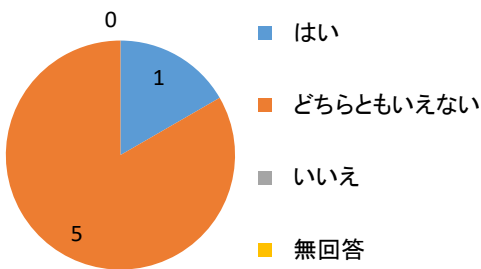
意見

・平日のみ。

改善策について

適時、お子さんの状況に沿った課題を立案し、支援を実施していけるように体制を整えていきます。

14. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか。



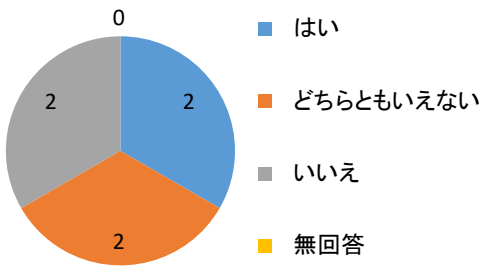
意見

・個別支援のみの事業所となります。ただし、必要に応じて上麻生教室集団との併用を勧めています。  
・現状は個別主体となっています。

改善策について

適時、お子さんの状態に沿った指導方法の検討及び立案を行っていくことで、お子さんの状況に応じた計画書の作成が行えるようにしていきます。

15. 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。



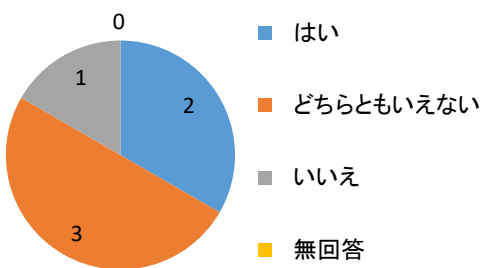
意見

・個別支援のため行っていません。

改善策について

部屋の確認やフィードバック時の対応の仕方等について、共有する機会を設けていくことで、安全に利用して頂けるように、適時、役割分担等を行っていきます。

16. 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。



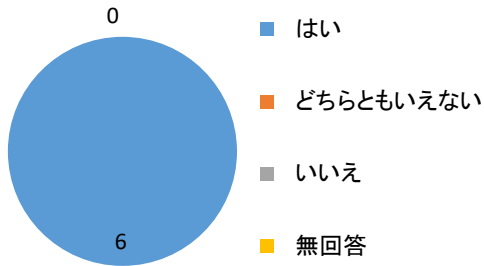
意見

・個別支援のため行っていません。

改善策について

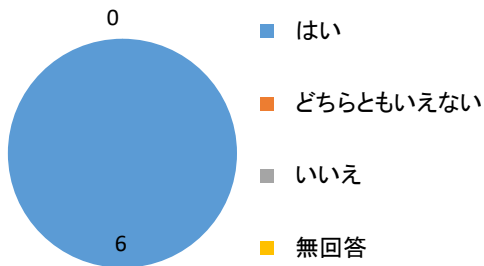
適時、お子さんの様子等を共有する機会を設けていくことで、次の支援に繋げていけるよう振り返り等を実施していきます。

17. 日々の支援に関して正しく記録を取る事を徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。



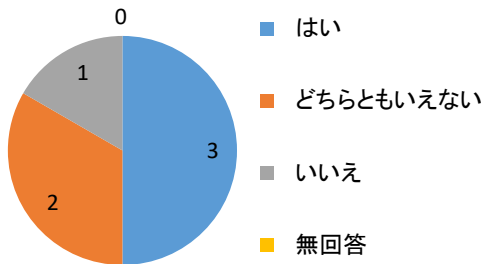
意見
↓
改善策について
支援の内容を記録し、次回の支援につなげていけるように検討・改善に努めています。

18. 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。



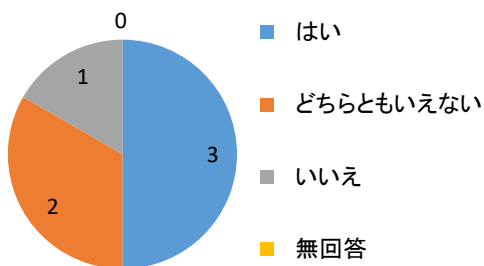
意見
↓
改善策について
定期的にモニタリングを行い、実施している個別支援の内容に応じて、検討・修正を行うようにしています。

19. ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。



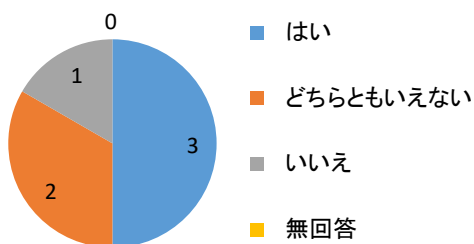
意見
↓
改善策について
ガイドラインの総則を軸にお子さんの状態に即した支援プログラムの立案に努めています。

20. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。



意見
↓
改善策について
今後、お子さんの支援に生かし、他側面から発達を総合的にとらえるために、担当者会議には、お子さんの状況に精通するものが参画できるようにしていきます。

21. 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。



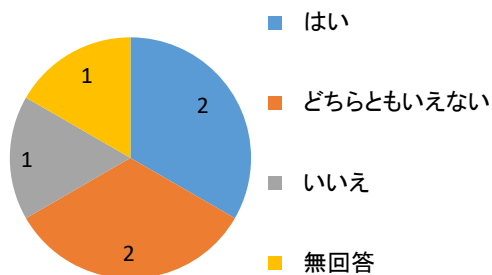
意見

- ・必要に応じて学校訪問はあるが、すべての生徒には行ってないです。
- ・個別指導のため、行ってないです。

改善策について

保護者と連携を取り、情報を共有しています。

22. 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。



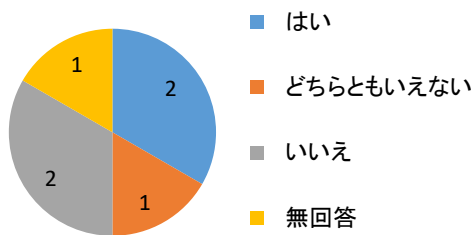
意見

- ・現状は、医療ケアが必要となる利用者はいないです。
- ・現状は受け入れていません。

改善策について

現状は、医療的ケアを必要とする利用者はいないですが、そうした利用者に関しては、適時、保護者や主治医と連携を密にし、事業所で行える医療的ケアを踏まえ、支援方法の検討を行っていきたいと考えています。

23. 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。

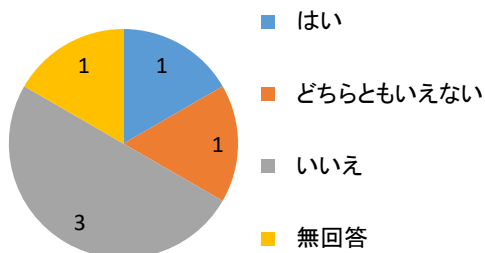


意見

改善策について

保護者と連携を取りながら、情報を共有できる体制を整えています。

24. 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。



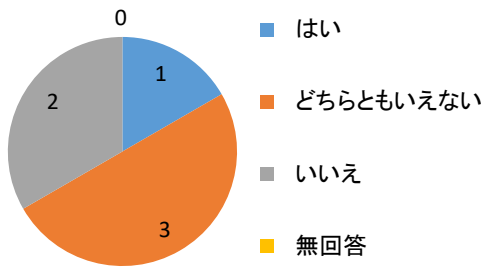
意見

- ・そのような利用者はいないです。
- ・現状まだ卒業者はいません。

改善策について

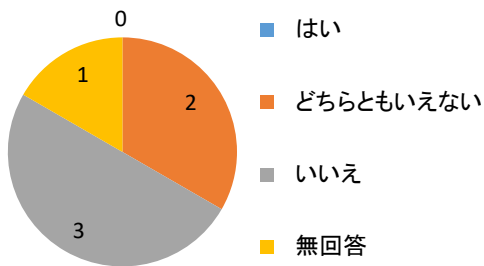
現状は、現項目に該当する利用者はいないが、そういった場合には、保護者等とも相談の上、適切な情報提供が行っていけるように対応していきます。

25. 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。



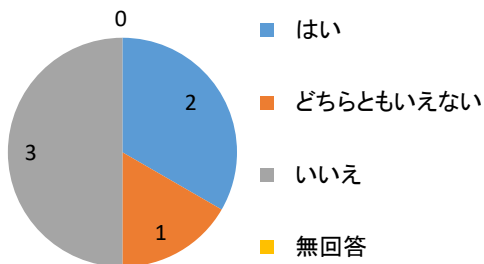
意見
↓
改善策について
<p>今後は、児童発達支援センター等の専門機関と連携を図ることで、支援力の向上を図っていきけるようにしたいです。</p>

26. 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。



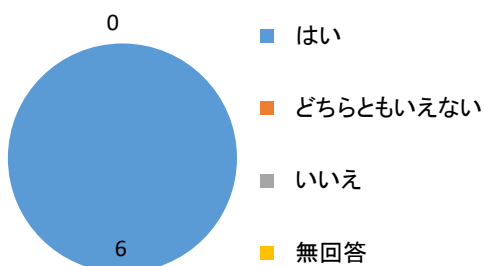
意見
<p>・送迎していないのでそのような接点がないです。</p>
↓
改善策について
<p>現状は、個別指導を中心に利用頂いているため、上記のような場は設定していません。</p>

27. (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。



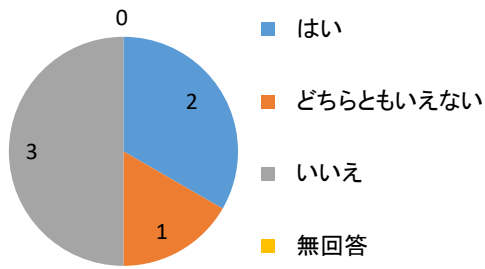
意見
↓
改善策について
<p>今後は、協議会等へ参加する場を増やしていくことで、職員の支援力の向上を図っていきけるようにしていきたいです。</p>

28. 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。



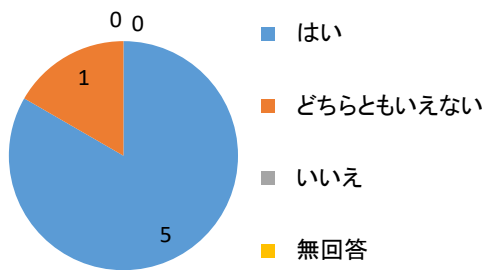
意見
↓
改善策について
<p>毎回支援後にフィードバックを行うことで、その日の内容の振り返り、お子さんの様子等状況を話合う機会を設けています。</p>

29. 保護者の対応力向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。



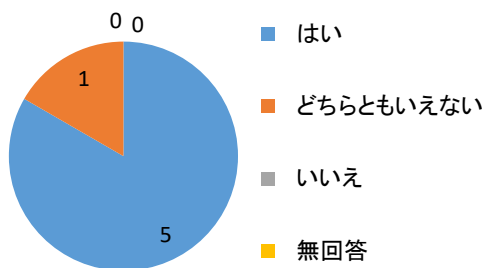
意見
↓
改善策について
<p>今後は、保護者のニーズ等を確認の上、お子さんや保護者にとって必要な支援を検討していけるように体制を整えていきます。</p>

30. 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。



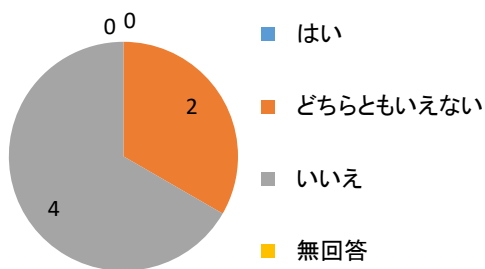
意見
↓
改善策について
<p>契約時、運営規定、支援の内容、利用者負担等について、詳細な説明を行っています。</p>

31. 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。



意見
↓
改善策について
<p>支援後のフィードバック、または、必要に応じて電話等で相談できる機会を設け、必要な援助や支援を図れるような体制をとっています。</p>

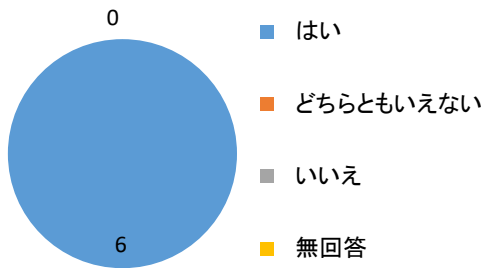
32. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。



意見
↓
改善策について
<p>今後は、適時、保護者会等の場を設けていくことで、より質の高いサービスを提供できるように努めていきます。</p>

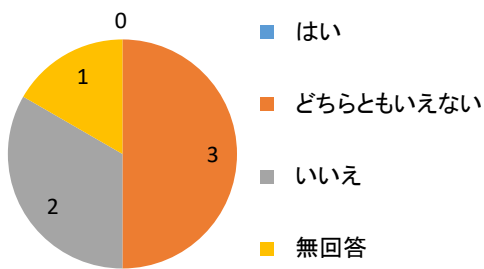


33. 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。



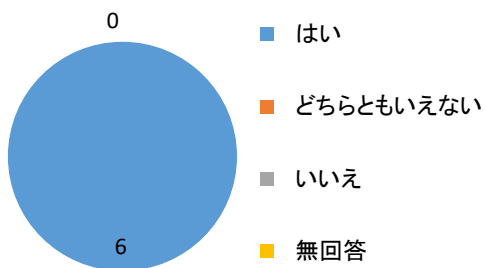
意見
↓
改善策について
苦情については、迅速に、かつ、状況の聞き取り、その対応の審査を行う機会を設けていくことで、適切に保護者に状況の説明を行い、今後の対策・対応を検討していけるようにしていきます。

34. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。



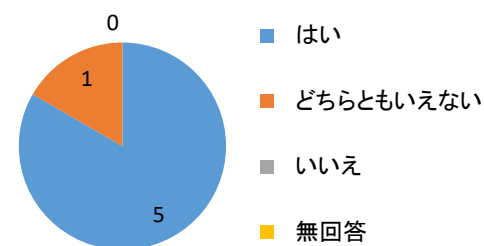
意見
・これから実施していく予定です。
↓
改善策について
今後、会報等、発行することで、お子さんと保護者により安心して来所して頂けるように環境を整えていきます。

35. 個人情報に十分注意しているか。



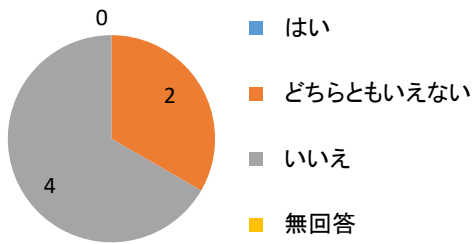
意見
↓
改善策について
個人情報の取り扱いについては、常に職員間で意識を高めていけるようにしていきます。

36. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。



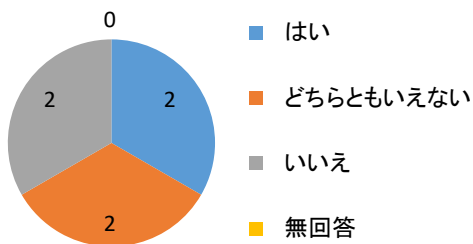
意見
↓
改善策について
保護者に聞き取りをし、適切な対応が図れるように整えていきます。

37. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。



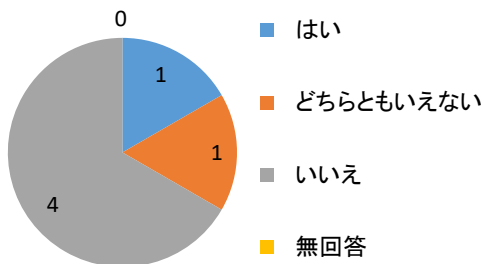
意見
↓
改善策について
利用者のニーズ等に沿った、事業運営に努めていきます。

38. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか。



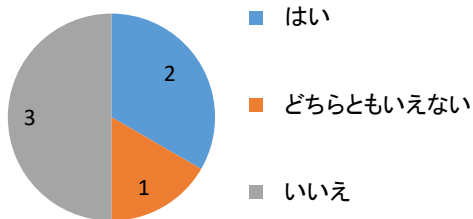
意見
・これから早めに作成していきたいです。
↓
改善策について
マニュアルの算定を順次定め、緊急時に遭遇した場合においても適切な対応が行える環境を整えていきます。

39. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。



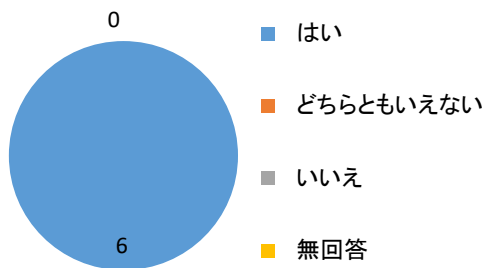
意見
・これから実施していく予定です。 ・これから行う予定です。
↓
改善策について
より一層、災害への意識を高めていけるように、訓練や研修等を実施する機会を増やし、実際に災害に遭遇した際に、円滑な避難・救出活動に繋がるように環境を整備していきます。

40. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。



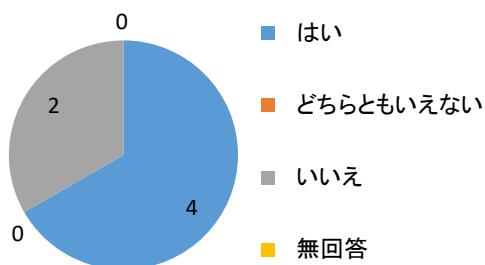
意見
↓
改善策について
今後、適時、虐待等について研修する機会を設けていくことで、お子さんや保護者により安心して来所して頂ける環境を整えていきます。

41. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。



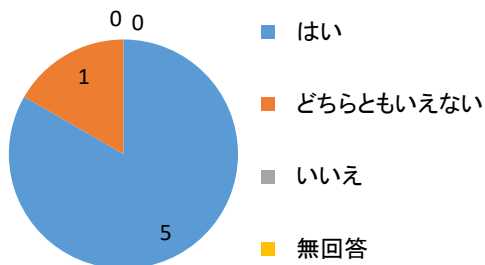
意見
↓
改善策について
<p>身体拘束を行うにあたってマニュアルを、適時、確認する機会を設け、防止に努めていきます。また、身体拘束を行ってしまった場合には、適切に保護者に状況の説明を行うと同様に、その対応の審査を行う機会を設けていくことで、今後の対応・対策を検討していけるように環境を整えていきます。加えて、支援計画書に記載し、保護者にサイン及び捺印をいただいています。</p>

42. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。



意見
↓
改善策について
<p>事業所として、基本的には、飲食をさせる機会を設けていないが、アレルギーに該当する項目のものを課題の中で使用する場合には、適時、保護者に事前に確認を行い、事前の対策をおこなわないように努めています。</p>

43. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。



意見
↓
改善策について
<p>ヒヤリハットに該当する物事が生じた場合には、事業者内で報告書の作成を行い、今後、どのように怪我等が発生しないようにしていくか対策を検討していけるように努めています。</p>